

平成28年

熊本地震 赤十字の活動

4月14日以降に熊本県で発生した地震被害に対し、日本赤十字社は発災後1か月となる5月14日までに、医療救護班149班を派遣し、各地の避難所における医療救援や巡回診療、医療ニーズの調査などを行いました。また、避難所などに避難されている方に配付した救援物資は、毛布18,980枚、安眠セット6,401セット、緊急セット654セット、ブルーシート11,200枚となります。日本赤十字社では、状況の変化に柔軟に対応しながら、被災者に寄り添った支援活動を引き続き行っています。



看護師に涙を見せる被災者



ミーティングを終え、災害対策本部から救護員が出動する様子



益城町総合体育館避難所の救護所で
脱水症状の処置を受ける子ども



巡回診療の様子



愛知県支部から被災地に
救援物資を送る様子

熊本地震による被災者に対して全国から日本赤十字社にお寄せいただいた義援金は、5月17日までに総額114億3,520万8,476円にのぼります。寄せられた義援金は被災県に設置される配分委員会を通じて全額が被災者に配分されます。

一方、医療救護資機材および被災者にお届けしている救援物資は、義援金とは別に活動資金として日本赤十字社に寄せられた寄付金等により支えられています。

義援金と活動資金、それぞれが異なる形で被災者を救っているどちらも大事な支援です。

今後も皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

赤十字の活動資金にご協力お願いします。

国際活動、災害救護活動など赤十字の行う人道事業は皆様からの資金協力によって支えられています。皆様のご協力をお願いします。

